

第2節 取組指標

循環型社会の形成に向けた取組の進展度を測る指標として、以下のような「取組指標」を設定します。

この指標として、「目標を設定する指標」及び「推移をモニタリングする指標」を設定し、「取組指標」体系を拡充・強化しました。(P. 「循環型社会形成に関する取組一覧」参照。)

目標を設定する指標については、平成27年度を目標年次とします。

1 目標を設定する指標

(1) 循環型社会形成に向けた意識・行動の変化

国民の循環型社会形成に対する意識・行動に関するアンケート調査結果として、約90%の人たちが廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を持ち、約50%の人たちがこれらについて具体的に行動するようになることを目標とします。

なお、インターネットや「マイバッグ」の普及など、ライフスタイルの変化に留意した調査項目の設定に努めるとともに、インターネットなどを活用し、より機動的、効率的な調査を行うこととします。

【参考：環境省「循環型社会の形成に関する意識調査」(平成19年度、N(母数)=1,232)

3R全般に関わる意識

ごみ問題への関心

・「(非常に・ある程度)ごみ問題に関心がある」: 86%

3Rの認知度

・「3Rという言葉(優先順位まで・言葉の意味まで)知っている」: 22%

廃棄物の減量化や循環利用に対する意識

・「(いつも・多少)ごみを少なくする配慮やリサイクルを心懸けている」: 79%

・「ごみの問題は深刻だと思いつつも、多くのものを買い、多くのものを捨てている」: 7%

グリーン購入に対する意識

・「(いつも・できるだけ・たまに)環境にやさしい製品の購入を心懸けている」: 86%

・「環境にやさしい製品の購入をまったく心懸けていない」: 11%

3Rに関する主要な具体的な行動例

Reduce

・「マイバッグを持参しレジ袋を断るようしたり、過剰な包装を断ったりしている」: 45%

・「簡易包装に取り組んでいたり、使い捨て食器類(割り箸等)を使用していない店を選ぶ」: 12%

・「マイ箸を携帯して割り箸をもらわないようしたり、使い捨て型食器類を使わないようしている」: 7%

Reuse

・「インターネットオークションに出品したり、落札したりするようになっている」: 24%

・「中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売買するようになっている」: 23%

・「びん牛乳など再使用可能な容器を使った製品を買っている」: 18%

Recycle

・「スーパーのトレイや携帯電話など、店頭回収に協力している」: 46%

・「再生原料で作られたリサイクル製品を積極的に購入している」: 20%

(2) 廃棄物等の減量化

ア 一般廃棄物の減量化

一般廃棄物排出量は、生活系ごみ、事業系ごみに大別されることから、一般廃棄物の減量化に関する取組指標として、以下の3つを設定します。

- (ア) 国民、事業者双方に係る取組指標として、「1人1日当たりのごみ排出量(計画収集量、直接搬入量、集団回収量を加えた一般廃棄物の排出量を、1人1日当たりに換算)」を平成12年度比で約 %減とすることを目標とします。

【参考：環境省「日本の廃棄物処理(平成17年度版)」】

- ・「1人1日当たりのごみ排出量」：約1,185グラム(平成12年度)
- ・ごみ総排出量：約5,483万トン(平成12年度)

- (イ) 生活系ごみに関しては、国民のごみ減量化への努力や分別収集への協力を評価するため、集団回収量、資源ごみ等を除いた値を「1人1日当たり家庭から排出するごみの量」とし、平成12年度比で約 %減とすることを目標とします。

【参考：環境省「日本の廃棄物処理(平成17年度版)」より試算】

- ・「1人1日当たりのごみ排出量」：約650グラム(平成12年度)
- 1人1日当たりのごみ排出量から、事業系ごみ、集団回収量、資源ごみを除いた値
- ・生活系ごみ排出量：約3,684万トン(平成12年度)

- (ウ) 事業系ごみについては、事業所数の変動が大きいこと、事業所規模によってごみの排出量に顕著な差が見られることなどから、1事業所当たりではなく、事業系ごみの「総量」について、平成12年度比で約 %減とすることを目標とします。

【参考：環境省「日本の廃棄物処理(平成17年度版)」】

- ・事業系ごみ排出量：約1,799万トン(平成12年度)

イ 産業廃棄物の減量化

産業廃棄物の最終処分量を平成 年度比で約 %減とすることを目標とします。

(3) 循環型社会ビジネスの推進

ア グリーン購入の推進

アンケート調査結果として、すべての地方公共団体、上場企業(東京、大阪及び名古屋証券取引所1部及び2部上場企業)の約 %及び非上場企業(従業員500人以上の非上場企業及び事業所)の約 %が組織的にグリーン購入を実施するようになることを目標とします。

【参考：環境省「グリーン購入に関するアンケート調査」(平成14年、N=2,144：都道府県・市区町村) 環境省「平成13年度環境にやさしい企業行動調査」(平成14年、N=1,291：上場企業、N=1,607：非上場企業)】

- ・「平成13年度における組織的なグリーン購入の実施率」
地方公共団体：約24%、上場企業：約15%、非上場企業：約12%

イ 環境経営の推進

アンケート調査結果として、上場企業の約 %及び非上場企業の約 %が環境報告書を公表し、環境会計を実施するようになることを目標とします。

【参考：環境省「平成13年度環境にやさしい企業行動調査」(平成14年、N=1,291：上場企業、N=1,607：非上場企業)】
・「平成13年度における環境報告書の公表率」
上場企業：約30%、非上場企業：約12%
・「平成13年度における環境会計の実施率」
上場企業：約23%、非上場企業：約12%

ウ 循環型社会ビジネス市場の拡大

循環型社会ビジネスの市場規模及び雇用規模を平成 年比でそれぞれにすることを目標とします。

【参考：平成14年版循環型社会白書】
・「平成9年における循環型社会ビジネスの市場規模」：約1.2兆円
・「平成9年における循環型社会ビジネスの雇用規模」：約3.2万人

(4) 個別リサイクル法の着実な施行

個別品目・業種については個別のリサイクル法・計画等に基づき設定されている目標を達成します。(P. (参考)参照。)

2 推移をモニタリングする指標

上記の目標を設定する取組指標に加え、各主体による取組の推移の定量的な把握、情報提供及び今後の施策展開の参考となる「推移をモニタリングする指標」を設定します。

(1) 詰め替え製品出荷率、レンタル・リース業の市場規模

国民及び事業者によるリデュース、リユースに対する取組指標として、詰め替え製品出荷率、レンタル・リース業の市場規模を把握します。

(2) レジ袋辞退率(マイバッグ持参率)、使い捨て商品販売量(割り箸/特に輸入)

国民によるリデュースに対する取組指標として、レジ袋辞退率(マイバッグ持参率)、使い捨て商品販売量(割り箸/特に輸入)を把握します。

(3) 中古品市場規模、リターナブルびんの使用率

国民及び事業者によるリユースに対する取組指標として、中古品市場規模、リターナブルびんの使用率を把握します。

(4) 「リユースカップ」導入スタジアム数

事業者によるリユースに対する取組指標として、何度も洗ってリユースすることのできるカップである「リユースカップ」の導入スタジアム数を把握します。

(5) 地域の循環基本計画等策定数

地方公共団体による3R全般に係る取組指標として、各地方公共団体による循

環基本計画（環境基本計画内に循環関連の記述があるものも含む。）策定数を把握します。

（６）ごみ処理有料化実施自治体率、リデュース取組上位市町村

地方公共団体によるリデュースに対する取組指標として、ごみ処理有料化実施自治体率、リデュース取組上位市町村を把握します。

（７）リサイクルプラザ設置数

地方公共団体によるリユース、リサイクルに対する取組指標として、リサイクルプラザ設置数を把握します。

（８）一般廃棄物リサイクル率、集団回収量、リサイクル取組上位市町村、容器包装の分別収集の実施自治体率、各品目別の市町村分別収集量等

地方公共団体によるリサイクルに対する取組指標として、一般廃棄物リサイクル率、集団回収量、リサイクル取組上位市町村などを把握します。

（９）地方公共団体主催の環境学習・相互交流会の実施回数、「地域からの循環型社会づくり支援事業」への応募件数

各主体が連携・協働した3Rへの取組指標として、地方公共団体主催の環境学習・相互交流会の実施回数、「地域からの循環型社会づくり支援事業」への応募件数を把握します。その他、循環型社会の形成には各主体の「連携・協働」が重要であり、その取組を推進していくことが望ましいことから、優れた具体的事例を積極的に収集・把握し、情報発信をはじめとする支援を行っていきます。

取組指標は、連携・協働に関する指標の充実も含め、必要に応じて機動的な変更・拡充を行っていきます。

なお、これらの指標は、より先進的な地域独自の取組指標を設定していくことも含め、地域における目標設定の参考となることが期待されています。

【参考】表1 循環型社会形成に関する取組指標一覧

循環型社会形成に関する取組指標一覧

主体	指標の性格	リデュース	リユース	リサイクル
国民	目標	3R全般 「循環型社会に向けた意識・行動」の変化(意識調査) ・廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を持つ人たち:約90% ・具体的に行動する人たち:約50% 一般廃棄物の減量化 1人1日当たりのごみ排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量):平成12年度比約-%減 1人1日当たり家庭から排出するごみの量:平成12年比約-%減(事業系ごみ、集団回収量、資源ごみを除く。)		
	推移モニタリング	「詰め替え製品をよく使う」や「マイバッグを持参したり、過剰包装を断るようになっている」等(意識調査;Q5)	「中古品を扱う店やフリーマーケットで売買する」や「びん牛乳など再使用可能な容器を使った製品を買っている」等(意識調査;Q6)	「リサイクルしやすいように、びんなどは洗って出している」や「家庭で出たごみは分別して、定められた場所に出している」等(意識調査;Q8)
事業者	目標	3R全般 一般廃棄物の減量化 1人1日当たりのごみ排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量):平成12年度比約-%減 事業系ごみ排出量:平成12年比約-%減 産業廃棄物の減量化 ・最終処分量:平成-年比約-%減 グリーン購入の推進 ・上場企業実施率約-%以上 ・非上場企業同約-%以上 環境経営の推進 ・上場企業実施率約-% ・非上場企業同約-% 循環型社会ビジネスの推進 ・市場規模:平成-年比-% ・雇規模:平成-年比-%		
	推移モニタリング	詰め替え製品出荷率(洗剤) レンタル・リース業の市場規模(循環ビジネス内訳) レジ袋辞退率(マイバッグ持参率) 使い捨て商品販売量(割り箸/特に輸入)	中古品市場規模 リターナブルびんの使用率	個別リサイクル法、リサイクルガイドラインによるリサイクルの推進(参考)参照。
地方公共団体	目標	3R全般 グリーン購入の推進 ・すべての地方公共団体で実施		
	推移モニタリング	3R全般 地域の循環基本計画等策定数 >ごみ処理有料化実施自治体率 >リデュース(1人1日当たりのごみ排出量)取組の上位10位市町村	リサイクルプラザ設置数()	>一般廃棄物リサイクル率 >集団回収量(一般廃棄物リサイクル率内訳) >リサイクル(リサイクル率)取組の上位10位市町村 >個別リサイクル法等によるリサイクルの推進 ・容器包装リサイクル法 ・容器包装の分別収集の実施自治体率 ・各品目別の市町村分別収集量等
連携・協働	目標			
	推移モニタリング	3R全般() 地方公共団体主催の環境学習・相互交流会の実施回数 「地域からの循環型社会づくり支援事業」への応募件数、効果的フォローアップの検討・実施		

国 循環基本計画の策定による、循環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進

[注釈]
 [] : 3R全般の取組
 [] : 現行の「循環基本計画」に盛り込まれている取組指標
 [] : 「循環型社会に向けた意識・行動」の変化(意識調査)のうち、「行動」の項目に盛り込まれているもの
 > : 循環基本計画以外で既存の施策の中で既に把握できているもの
 [] : 新たな「循環基本計画」に盛り込むことが考えられる取組指標

: 今後アンケート等によって把握するデータ。